

黒沢2丁目第1自治会館にて 「認知症サポーター養成講座」開催！

6月16日(木)、おそきの学校と地域を考える会に設置された「高齢者お助け隊」の活動の一環として、青梅成木台病院の認知症疾患医療センターも協力させていただき、「認知症サポーター養成講座」を黒沢2丁目第1自治会館で開催しました。

昨年11月の富岡地区に続き小曾木地区で2回目の開催です。認知症になっても地域で安心して暮らしていけるよう、認知症についての知識を学びました。私たち全員が認知症になる可能性があること。認知症になってもすべてわからなくなるのではなく、ちょっとしたサポートがあれば今までの暮らしが送れること。生活の中でいろいろ工夫することで、予防できることもあること…などをお話しさせていただきました。今後も地域で開催予定です。お近くで開催のときにはぜひお立ち寄りください。(青梅成木台病院 認知症疾患医療センター 細野健)



南相馬市へのり災調査派遣について 小曾木市民センター 塚田祥太

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震(最大震度6強)による被災家屋の被害調査を令和4年4月14日~28日の15日間行いました。同期間で他県から約120人の派遣があり、約3,600件の調査を完了しました。

業務内容はり災証明発行のために被災した家屋の被害程度を判定するものでした。り災証明は市、県からの見舞金や補助金の申請、保険の請求にも必要となる書類です。住民の生活再建のために早急な対応が求められていました。

南相馬市は古い家屋が多く、屋根瓦の被害、土蔵の被害が目立っていました。災害発生から公的な生活再建支援が行き届くまで最短1~2か月かかります。家が被災した場合の避難先など皆さんもこの機会に考えてみてください。



高齢者お助け隊 介護保険の説明活動報告

6月23日(木)、黒沢2丁目第1自治会館において「知って備えよう!地域包括支援センター、介護保険」をテーマに、地域包括支援センターの紹介、脳トレ、介護保険について、さらに自治会長による応急手当の講話が行われました。

この活動は小曾木地区の第2層協議体「高齢者お助け隊(おそきの学校と地域



を考える会)」による2回目の活動です。アンケートでは身近な場所に集まれる場所があったらいいといった希望の声が聞かれています。支えあいの活動について続けて検討していきます。

(青梅市地域包括支援センターすえひろ)

富岡自治会 第1回桜まつり開催

4月2日(土)、高齢者お助け隊活動の一環で、富岡乙黒耕地脇の桜並木にて桜まつりが開催され、約120名が参加しました。地域住民の親睦を深め、連帯感を増すことを目的に開催された桜まつりは、民生児童委員、富岡自治会、富岡自治協議会、愛宕会(高齢者クラブ)などの協力により、地域全体での多世代交流の場となりました。

